

施策	4303 母子保健の充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民（母性並びに乳幼児）							
施策が目指す姿	各種乳幼児健診や相談・健康教育の充実を図るなど、安心して子どもを生み育てる環境を整える。							
成果指標	3歳児健康診査受診率...平成29年度で100.0%(現状値97.4%)							
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標 1 [ % ]	予定	96.00	97.00	98.00	99.00	100.00	
		実績	97.10	95.80	96.80	96.60	96.80	
	成果指標 2 [ ]	予定						
		実績						
	成果指標 3 [ ]	単位コスト						
		予定						
	成果指標 4 [ ]	実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	277,476	264,840	268,743	210,968	268,570	
実績		217,456	253,603	259,662	207,268	240,097		
内 部 評 価	貢献度	妊婦健診や養育医療給付により経済的負担を軽減し安全に出産に臨むことができる。また、妊娠期から訪問や相談、教室において切れ目のなく継続支援を行い貢献度は高い。						
	達成状況	乳幼児健診や教室、相談において昨年度よりも多く育児支援を実施した。成果指標の目標値には至らなかったが、乳幼児健康診査アンケートでは保護者の満足度は高い。						
	課題	乳幼児健康診査アンケートにおいて、待ち時間やスタッフの対応に関する意見があり、健診の流れを工夫することや、受診者への親切丁寧な対応が求められている。						
	取組方針	乳幼児健診の流れを見直す。子育て相談に歯科相談を盛り込み育児支援の充実を図る。産婦健診と新生児聴覚検査費用助成、産後ケア事業を新規実施し支援体制を強化する。						
外 部 評 価	<p>3歳児健康診査受診率は未達成であり、5年間横ばいという結果は目標達成の難しさを感じるが、その原因を分析し、対策を具体的に示し対策を講じるべき。</p> <p>健康診査は病気等の早期発見につながることから、指標の対象を早い段階での診査にした方がよいのではないか。</p> <p>また、乳児全戸家庭訪問、乳幼児健康診査や各種相談など、多岐にわたる取り組みを実施していることから成果指標の再考を検討すべき。</p>							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	277401	乳幼児発達相談事業費				4,818	100	
	277501	妊産婦健康診査事業費				85,512	100	
	750401	子育て世代包括支援センター事業費				28,547	99	
	277101	母子保健事業費				107,861	97	
	277801	未熟児養育医療給付事業費				13,359	1	
	768501	産後ケア事業費					0	

## 平成29年度 単位・基本 施策評価表 補表

施策	4303 母子保健の充実		
区分	妥当性	妥当	母子保健法に基づいた事業を、対象年齢や事業内容に合わせた手段を用いて実施しており妥当である。
	コスト削減の余地	有	会場によって乳幼児健康診査対象者数や各種相談・教室の参加数にばらつきがあり、実施費用と効率を考慮し、開催方法を見直すことでコスト削減の余地がある。
	受益者負担	適正	地方公共団体の責務として実施している事業であるため、受益者に負担を求めることは不可能である。
	上位貢献度	有効	妊娠期から経済支援と、切れ目のない相談支援体制を強化し母子保健を充実していくことは、母子の心身の健康保持・増進につながり、上位貢献度は大いに有る。
	類似事業の有無	無	子育て相談については、子育て支援課でも実施しているが、当課における相談事業は保健指導を趣旨としており類似しない。
	成果向上の余地	有	子育て相談の内容の充実や、新規の公費助成事業の開始、産後ケア事業の開始により、成果向上が見込まれる。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	妊婦健康診査費用助成や未熟児養育医療給付等により経済的負担の軽減を図り安心安全に出産に臨むことができる。また、妊娠期からの家庭訪問や乳児全戸家庭訪問事業の実施、乳幼児健康診査や各種相談、教室における育児相談の実施と、切れ目のない継続支援を行っており貢献度は高い。	
	達成状況	乳幼児健診や各種教室・相談においては、昨年度より多く育児支援を実施し目標値を達成している。 成果指標は目標値100%には至らなかった。未受診児については、受診勧奨ルールを定め台帳を整備し、未受診理由および居所の確認を行った。未受診理由は、医療機関フォロー中、外国在住で不在、受診拒否等であることを把握した。 乳幼児健康診査の実施方法や内容については、保護者アンケートを実施し満足度は高いという結果が得られた。	
	課題	乳幼児健康診査アンケートにおいて、待ち時間やスタッフの対応に関する意見があり、健診の流れを工夫することや、受診者への親切丁寧な対応が求められている。健診拒否の理由での未受診児への受診勧奨は取り組みを引き続き強化していくことが必要である。	
	取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健康診査会場のレイアウトの工夫、保健指導方法の見直しを行い、流れをスムーズにする。</li> <li>・育児支援の更なる充実のために、子育て相談に歯科相談を盛り込む。</li> <li>・新規に産婦健康診査と新生児聴覚検査の公費助成を行い、出産育児にかかる費用の経済的負担の軽減を図り、また、産後ケア事業を新設することで、出産後の母子に対する心身のケア、育児サポート等の支援を行い、安心して子どもを生み育てる支援体制を強化する。</li> </ul>	
	貢献度	妊娠期からの経済支援の継続と、今年度からは子育て世代包括支援センター事業を新設し、専門職による生後2週間目全戸電話相談の実施等、切れ目のない相談支援体制を強化し母子の心身の健康保持・増進を図っており、上位貢献度は大いに有る。	

<p>内部評価 【前期5年分】</p>	<p>達成状況</p>	<p>単位施策の成果指標「3歳児健康診査受診率」は、対象者に医療機関フォロー中や外国在住で不在の者が含まれており、受診率100%を達成することは難しい状況である。 乳幼児健診や各種教室・相談における育児支援に関しては、年々充実を図り実績が向上し、目標値を達成しており、単位施策の目標は達成できたと考える。</p>
	<p>課題</p>	<p>乳幼児健康診査アンケートにおいて、待ち時間やスタッフの対応に関する意見があり、健診の流れを工夫することや、受診者への親切丁寧な対応が求められている。健診拒否の理由での未受診児への受診勧奨は取り組みを引き続き強化していくことが必要である。</p>
	<p>取組方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健康診査会場のレイアウトの工夫、保健指導方法の見直しを行い流れをスムーズにし、受診者の満足度向上に努める。</li> <li>・育児支援の更なる充実のために、子育て相談に歯科相談を盛り込む。</li> <li>・新規に産婦健康診査と新生児聴覚検査の公費助成を行い、出産育児にかかる費用の経済的負担の軽減を図り、また、産後ケア事業を新設することで、出産後の母子に対する心身のケア、育児サポート等の支援を行い、安心して子どもを生み育てる支援体制を強化する。</li> </ul>